

■奥村博初代理事長が逝去

北海道のアメリカンフットボールの草創期に牽引役を務められた奥村博（おくむら・ひろし）元北海道学生アメリカンフットボール連盟理事長が8月3日午前9時28分、逝去されました。89歳でした。

奥村氏は1967年（昭和42年）の札幌大学開学と同時に創部された野球部の監督に就任。野球部監督在任中の71年（同46年）、道内初のアメリカンフットボール部となる札幌大アメリカンフットボール部の創部にも尽力されました。75年（昭和50年）に道学生アメリカンフットボール連盟が発足すると初代理事長に就任。92年（平成4年）に北海道アメリカンフットボール協会が設立されて、同協会の初代理事長に就任するまで18年間、学連の舵取りを務められました。この間、75年に道学生アメフト選手権がスタートし、78年から80年には、甲子園ボウルの出場権をかけた関東選手権に北海道勢も挑む道筋をつくるなど、現在の北海道学生アメリカンフットボールの基礎を築きました。

広川英人道学生アメリカンフットボール連盟理事長は「札幌大アメフト部の創設に始まり、草創期の北海道のアメフトを引っ張ってくれた功績は計り知れない。今年から甲子園ボウルへの道が全国の学連に平等に開かれ、北海道のアメフト関係者全員が張り切っていただけに、突然の訃報が残念でなりません」と話しています。

■葬儀日程

通夜	8月7日（午後3時～5時、随時） 午後6時
葬儀ミサ	8月8日（午前8時～9時、随時） 午前10時
出棺	午前11時
会場	中央区北1東6の10、カトリック北1条教会
喪主	妻・喜久美さん
自宅	豊平区福住3の1